

報告日：2025年10月7日

くまもとmogusukuプロジェクト プロジェクト完了報告書



くまもとmogusuku
プロジェクト連絡協議会

くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

01 ご支援いただいた皆様へ

このたびは「くまもとmogusukuプロジェクト」に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

2024年11月より実施してまいりましたクラウドファンディングは、2025年8月末をもちまして募集を終了いたしました。

企業への協力依頼や個人の皆さまへの告知活動を通じ、多くの方々からご関心と応援メッセージも多数頂戴し、多大なご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

これまでのご支援により、熊本県内にある約180カ所の子ども食堂へ、今年5月に2,000食分、7月に7,950食分、上通ひとり親支援イベントで400食分、合計1万食以上の「トマトソース煮込みハンバーグ」をお届けすることができました。

施設の方々からは「日頃の活動の助けになっています」とのお声もいただき、皆さまの温かいご支援の気持ちを形にし、現場で子どもたちを支える活動にお役立ていただけたのではないかと思います。

今後の活動については、クラウドファンディングによる募集は一区切りといたしますが、モグスクメンバーが中心となり、熊本県内外の企業・団体様にもご協力いただきながら、引き続き子ども食堂への支援を継続してまいります。

私たちの取り組みは決して大きなことではありませんが、一つひとつの小さな行動の積み重ねが、子どもたちの健康を支え、笑顔を育む力になると信じています。

これからも子どもたちの未来に寄り添い、地域に根ざした活動を地道に続けていきたいと考えております。

また、ご寄付をいただいた皆さまには、心ばかりの返礼品を準備しております。順次お届けいたしますので、今しばらくお待ちください。

これからも変わらぬご支援と温かい見守りを賜りますようお願い申し上げます。皆さまと共に、地域の子どものたちが安心して笑顔で過ごせる居場所づくりに、引き続き力を尽くしてまいります。

くまもとmogusuku
プロジェクトメンバー
一同

くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

02 プロジェクト概要

目的 |

熊本県内の約180か所の「こども地域食堂」に、1年間で合計10万食を届けることを目指すクラウドファンディングプロジェクトです。

背景と課題 |

- ・こども食堂は、地域の子どもたちに「食」を通じて安心できる居場所を提供する重要な役割を担っています。
- ・多くの食堂が寄付食材に頼っており、食材の安定供給や保存方法に課題があります。
- ・運営はボランティア中心で、人手不足や運営負担が大きい状況です。
- ・周囲の目を気にして利用しづらいという声もあり、偏見の払拭が必要です。

期間 | 2024年11月5日～2025年8月31日 (10カ月)

背景と課題プロジェクトの取り組み |

- ・栄養バランスに配慮した「レトルト食品（煮込みハンバーグなど）」を開発・提供。
- ・長期保存が可能で、調理も簡単な食品を定期的に届けることで、食堂の運営を支援。
- ・地元企業8社が中心となり、地域の未来を担う子どもたちの健康と成長を支える。

実際に配布したハンバーグ |

第一弾として、九州産にこだわった煮込みハンバーグ。宮崎県産の黒毛和牛と九州産の黒豚を使用。材料は肉、たまねぎ、卵、パン粉、塩、香辛料（ブラックペッパー、ナツメグ）だけで、シンプルに仕上げました。野菜もたっぷり入っているので栄養満点です。



くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

03 活動報告

配布 | 第1弾 mogusukuのハンバーグ配布 約1万食発送完了

第1便【5月29日(木)】 約2,000食分のレトルト食品発送完了

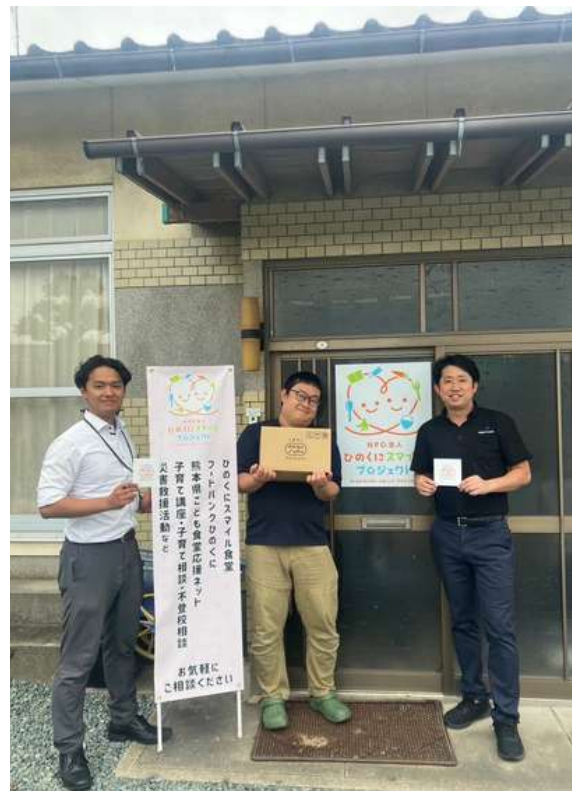
■代表：ひのくにスマイルプロジェクト様 計1,240食

- ・キッズレストランイーと様 (170食)
- ・山鹿こども食堂百華様 (210食)
- ・楡木子ども地域食堂なごみ様 (170食)
- ・ひのくにスマイル食堂様 (420食)
- ・子ども食堂 こみ～る様 (150食)
- ・いっとくや様 (120食)

■代表：熊本県地域こども食堂支援センター様 計740食

- ・地域しんぶんどう食堂様 (110食)
- ・ほうさく食堂様 (250食)
- ・NPO法人寺子屋カフェくまもと（こども食堂「寺子屋カフェ」）様 (70食)
- ・せいあい子ども食堂マナ様 (110食)
- ・食育体験！たつだ・こどもカフェ様 (200食)

↓コアメンバーと各こども食堂担当者様→



くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

03 活動報告

配布 | 第1弾 mogusukuのハンバーグ配布 約1万食発送完了

第2便 mogusukuのハンバーグ配布 約8,000食分のレトルト食品発送完了

【7月15日（火）】

■代表：NPO法人わらびかみ様 計220食

- ・ほくほく教室様 (100食)
- ・藍の風様 (120食)

【7月17日（木）】

■代表：フードバンク県南水俣支所様 計740食

- ・水俣すまいる食堂様 (270食)
- ・ヒカリトコカゲ地域食堂様 (50食)
- ・よりどころmoyora様 (60食)
- ・子ども地域食堂ポパイ様 (210食)
- ・つなぎ夢キッチンころん(つなぎこども食堂協議会)様 (150食)

■代表：人吉コミュニティ事務局にじのおと様 計370食

- ・ニコニシ食堂様 (250食)
- ・おしゃべり食堂 人吉コミュニティ事務局にじのおと様 (120食)

【7月18日（金）】

■代表：フードバンク熊本様 計1,270食

- ・子ども食堂 たんぽぽ様 (130食)
- ・釜ぐみ様 (130食)
- ・ふじとみふれあい食堂様 (120食)
- ・大江子ども食堂様 (410食)
- ・こども食堂 おにぎりくLOVE様 (120食)
- ・大丸こども食堂様 (210食)
- ・ゆこゆこみゆき様 (150食)

↓ コアメンバーと各こども食堂担当者様



くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

03 活動報告

配布 | 第1弾 mogusukuのハンバーグ配布 約1万食発送完了

第2便 mogusukuのハンバーグ配布 約8,000食分のレトルト食品発送完了

■代表：熊本県こども食堂ネットワーク様 計4,380食

- ・こども食堂フライングダッチマン様 (210食)
- ・Yellつながるカフェ様 (80食)
- ・こども食堂ハピネス様 (180食)
- ・清水子ども地域食堂様 (70食)
- ・こがみおやこ食堂様 (200食)
- ・おひさま食堂様 (70食)
- ・白山こども食堂様 (310食)
- ・だんらん様 (80食)
- ・甲佐食堂「おかえり」様 (210食)
- ・子ども地域食堂にじまある様 (110食)
- ・ふるさと元気子ども食堂様 (210食)
- ・こどもキッチンブルービー様 (260食)
- ・子ども地域食堂 楽土様 (310食)
- ・くるみ食堂様 (110食)
- ・陽だまりの樹様 (210食)
- ・子ども食堂 ななつぼし様 (170食)
- ・なかよし寺子屋クラブ様 (150食)
- ・ゆりりん食堂様 (200食)
- ・むさし子ども食堂様 (70食)
- ・子ども・地域食堂 はなえみ食堂様 (110食)
- ・COCO-Z様 (110食)
- ・ぱんぷきん食堂様 (210食)
- ・たくきた地域食堂ともあい様 (210食)
- ・桜木東食堂陽だまり様 (270食)
- ・こども食堂ひよっこ様 (210食)
- ・元気だモン食堂様 (50食)

■代表：熊本県ひとり親家庭福祉協議会様 計680食

- ・みんな食堂サンSUN様 (100食)
- ・長嶺みんなの食堂様 (130食)
- ・地域コミュニティ食堂 Onn+様 (210食)
- ・美里町こども食堂様 (170食)
- ・子育てネットワーク縁側moyai様 (70食)

【7月22日（火）】

■代表：NPO法人地域たすけあいの会様 計220食

- ・荒尾すこやか食堂(桜山) 様 (70食)
- ・住吉町子どもサロン様 (150食)
- ・ふぉーちゅんサークルあらお様 (70食)



↑ コアメンバーと各こども食堂担当者様

くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

04 成果まとめ

達成内容 |

- ✓ 第一弾で約1万食分のレトルト食品提供完了
- ✓ 熊本県内の約180か所のこども地域食堂と連携
- ✓ 地域の子どもたちの食の安定と心の居場所づくりに貢献
- ✓ クラウドファンディングで319万円を達成（目標の約10%）
- ✓ 地元企業8社が連携してプロジェクトを推進

アンケート結果 |

良かったが9割以上！

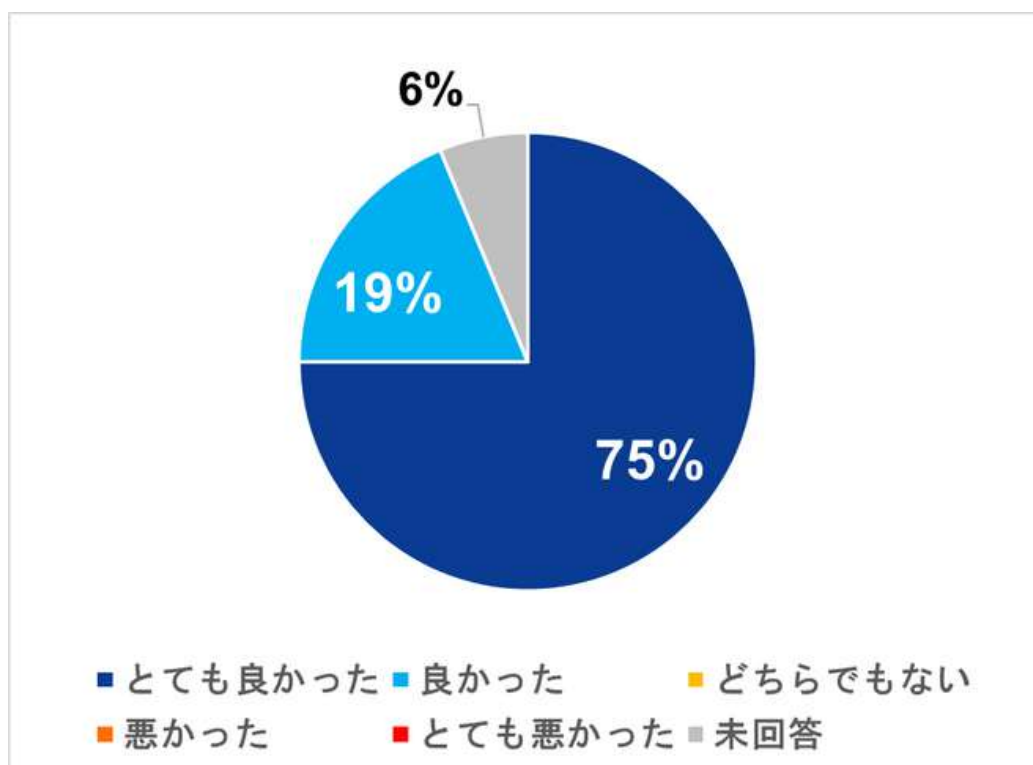


図1 子ども達や利用者の方々の満足度

※未回答の方々はハンバーグが日持ちするため、まだお召し上がりになっていない子ども食堂様です。

くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

各こども食堂様からのご感想 |

食堂名	召し上がった感想（味、量、調理のしやすさなど）
おひさま食堂	ボイルしました 弁当配布と会食で提供しました。 凄く大きさにビックリでした。お味もとても美味しかったです。
元気だモン食堂	おいしかったの声が多く、小さいお子さんは食べ切れないほど。大鍋で湯せんして提供しました。下にパスタを添えたのでソースまで食べてくれました。
白山こども食堂	大変美味しく、こども大人 みんなに評判良かった このハンバーグで200円で食べられるの！？手作りハンバーグのレベル高いなどほとんどが感謝と驚きの感想でした。ただ、煮込みでソースが多いため、残菜が扱いにくかった。
子ども地域食堂 にじまある	味も量もちょうどよく、調理もしやすかったです。皆さん美味しいと喜ばれていました！
子ども地域食堂 楽土	大人が食べても十分な量だった。
山鹿こども食堂百華	ボリュームがありお腹いっぱいになった。食の細い子どもも美味しいと言って完食していました。
子ども食堂 ななつぼし	沢山のハンバーグのご寄付をありがとうございました。子ども食堂 ななつぼしでは食堂利用の方々へ配布致しました。ふわふわで柔らかくてとても美味しかったと感想を頂きました。ソースもたっぷり入っていて満足度も高い様でした。小さな子どもさんでも1個べろりと食べましたとの事でした。皆さんに喜んで頂けました。ありがとうございました。感謝致します 🍔
ほくほく教室	しっかり濃いめの味で、子どもたちの好きな味付けで、好評でした。ソースの量が多く、もったいないくらいでした。
食育体験！ たつだ・こどもカフェ	当団体は、食育体験に重きを置いて活動しており、開催日は調理に子どもたちに参加していただいています。そのため、いただいたハンバーグはご自宅で召し上がっていただくよう参加された方と支援している家庭に配布させていただきました。晩ご飯や夏休みのお昼ご飯にも大活躍で野菜も沢山入っていて美味しかったと感想をいただきました。本当に、ありがとうございました。 下記利用者さんからの感想 ・ハンバーグとてもおいしかったです。 ・美味しくいただきました、ありがとうございました。 ・めっちゃくちゃ美味しいハンバーグだった！ ・タレがもったいないからと ハンバーグ食べ終わって最後はソースに白飯おかわりして食べてました♪(๑╯^╰๑)♪
子ども食堂だんらん	デミグラスソースの味が大人向けに感じました。
大丸こども食堂	湯煎での調理だったので効率よくご提供できました。お客様の様子から味も美味しかったと伺っております。
荒尾すこやか食堂(桜山)	とても美味しく食べやすいお味でした。量も良かったと思います
ヒカリトコカゲ地域食堂	野菜がたくさん入っていて美味しいと好評でした。
こども食堂 たんぽぽ	子供からお年寄りまで好評でした。さらに、パスタ絡めてもおいしくとても重宝しました。常温保存も最高です！

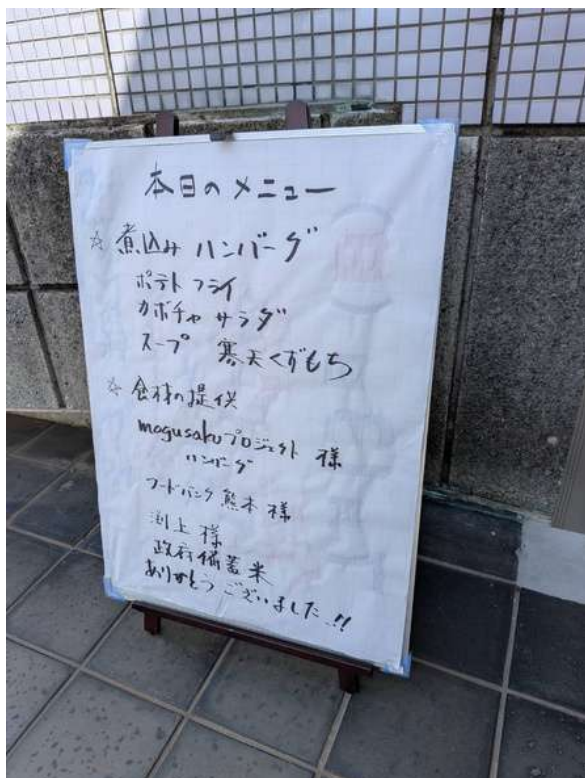
くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

各こども食堂様からのご感想 |

食堂名	召し上がった感想（味、量、調理のしやすさなど）
甲佐食堂「おかえり」	とてもおいしかったです。ソースたっぷりで癖がなく、小さな子どもから大人までそのまま出して好評でした。食が細く普段食べないから自分の分だけ注文したお母さんが、これなら食べると言ってるから子どもの分もお願いしますと追加注文され、完食したことを大変喜んでおられました。水害の直後でボランティアさんも少なかったのも、手間をかけずに出せるメニューで大変助かりました。
地域しんぶんどう食堂	味、量は問題ありません。食べて頂いた子からは好評をもらっています。調理も手間がかからず、賞味期限も長いのは大変助かりました。
長嶺みんなの食堂	美味しくいただきました。常温保温も助かります。
美里町こども食堂	レトルト食品だったので、忙しい時に手軽に調理できて助かりました。また、今回美里町ではこども食堂利用者様においても、水害に遭った御家庭もあり助かりました。
地域ふれあい食堂 ゆこゆこみゆき	柔らかいハンバーグとトマトソースで美味しかったです！小さい子と高齢者は多かったようですが、育ち盛りのこどもたちはちょうど良かったです。湯せんで温めるだけというのが、大変ありがたかったです。また、希望数量よりたくさんいただいて、おみやげにしたので喜ばれました。
こども食堂おにぎりくLOVE	味がちょっと薄く感じたので調味料をたしました。
くるみ食堂	丁度良かったと思います。今回は、配布いたしました。
こども食堂ひよっこ	温めるだけですぐに食べられるので、有り難いとの声が多かった。
こども食堂ハビネス	子どもたちは喜んで受けっていました。
なかよし寺子屋クラブ	大変おいしいとの事でした。温めるだけなので助かりました。
いっとくや	子供に安心して食べさせることができる味付けで、量も丁度良かったです。湯煎でも、レンジでも簡単に調理できました。ソースもたっぷり入ってたので付け合わせにパスタなど入れたりでき、美味しく頂きました。
地域コミュニティ食堂Onn+	ソースたっぷりでも味も美味しかったです
釜ぐみ	味、トマトの酸味が効いていてトマトが好きな子供には、とてもよこばれましたが、トマト嫌いの子供が、ちらほらでした。量は他のおかずもあったので、残しがないように半分に提供し、おかわりをしてもらうようにした。調理のしやすさは大変、楽でとても助かりました。なんといっても保存が常温で良い事が本当に有り難かったです。ご寄付頂くメイン食品は殆どが冷凍なので保存場所に毎回苦労しています。常温保存、本当に助かりました。
子ども食堂こみ〜る	スープハンバーグで食べやすかった。簡単に調理できるので良かった。量としては十分だが、小さな子には酸味が少し強かったかも。 ハンバーグの感想です！ 国際の黒豚や黒毛和牛など素晴らしい原材料でビックリ !!

くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

食べている様子 |



くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

食べている様子 |



くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

食べている様子 |



くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

今後のご要望、ご意見 |

- ・定期的にこども食堂に提供していただけたら助かります♪
若い世代がこれからまた頑張ってくださいね！応援しています！
- ・ありがとうございました又機会ありましたらよろしくお願いいたします。
- ・簡単、すぐに食べられることで大好評でした！ぜひこれからもよろしくお願いいたします。
- ・いつもありがとうございます！お力添えに感謝いたします！
- ・好評でした。引き続きご支援いただけたらありがたいです。
- ・日持ちのする食材は、今回のように急な延期などでも臨機応変に保存ができ助かります。
- ・手のこんだ料理より、今回のようなハンバーグや唐揚げ、スパゲッティといったような、誰もが好きな子どもメニューがいいです。
- ・常温保存ができるの食材で助かりました。
- ・お肉などは、金額が高騰していてなかなか購入が難しくなっています。
メイン食品の提供は本当に有り難いです。
- ・今回のような湯せんでできるおかずは、本当にありがたいです。
今後とも、よろしくお願いいたします。
- ・この度は、ご寄付くださり誠にありがとうございました。
- ・食品のご提供、感謝です。運営側としても、そして子供食堂に来店される方にとって、とても有難いです。
- ・ハンバーグは、子どもたち大好きなので、味のバリエーションがあるとありがたいです。
- ・当食堂は小規模で運営しておりますので、配布数は半分ぐらいでも大丈夫な数でした。
今回は賞味期限が長かったため、問題ありませんでした。
- ・このような機会は本当にありがたいと思います。引き続き、ご支援をお願い致します。
- ・来年以降も続けて頂けると有難いです。
- ・年に一度はお願いします。

くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

05 振り返り

「くまもとmogusukuプロジェクト」は、地域のこども食堂と企業が手を取り合い、子どもたちの“食”と“居場所”を守るために動き出した挑戦です。これまでの歩みを振り返り、見えてきた成果と課題を整理します。

1 地域の連携が広がった

熊本県内180か所のこども食堂とつながり、地域全体で子どもたちを支える仕組みが少しずつ形になってきました。企業・団体・個人がそれぞれの立場で協力する姿勢が見られ、支援の輪が広がっています。

2 食品支援の仕組みが定着

こども食堂の運営において、食材の確保や調理の手間は大きな負担となることが多く、継続的な活動の障壁にもなりかねません。そうした課題に対し、保存性・栄養バランス・調理の簡便さを兼ね備えたレトルト食品の提供により、食堂運営者の負担軽減に貢献。定期配送というサブスク型支援が、安定した食の提供を可能にしました。

3 支援の可視化と共感の拡大

クラウドファンディングを通じて、支援者の想いが形になり、約319万円の支援が集まりました。「mogusuku」というネーミングも親しみやすく、活動の認知度向上に寄与しました。

4 子どもたちの居場所づくりに貢献

食の提供だけでなく、こども食堂が「安心できる居場所」として機能するようになり、孤立や偏見の解消にもつながる一歩となりました。

5 今後への課題と希望

目標の3,000万円の資金にはまだ遠く、継続的な支援の仕組みづくりが大きな課題となっています。今後は食支援に加え、学び・相談・交流など多面的な支援が期待されています。

06 所感・次回に活かすこと

地域のこども食堂と企業が連携し、子どもたちの“食”と“居場所”を支える仕組みを築けたことは、大きな成果でした。保存性や栄養面に配慮した食品の定期支援は、現場の負担軽減にもつながり、実践的な意義を感じます。一方で、支援の広がりや認知度にはまだ課題が残っており、次回は広報の強化や支援者との継続的な関係づくりが鍵となります。現場の声を反映した柔軟な支援設計と、成果の見える化を通じて、より多くの共感と参加を生み出す取り組みが求められます。

次回に活かすこと・改善ポイント |

1. 広報と共感の強化

活動の意義や成果を、SNS・地域メディア・イベントなどを通じて積極的に発信し、より多くの人の共感と参加を促す。

2. 現場ニーズの反映と柔軟な支援設計

こども食堂の声を定期的にヒアリングし、食品内容や配送方法などを実情に合わせて改善していく。

- ・小規模なこども食堂には、必要数に応じて配布量を調整。
- ・子どもたちに人気のメインメニュー（例：スパゲッティ）を取り入れるなど、喜ばれる商品を検討。

くまもとmogusukuプロジェクトプロジェクト完了報告書

07 協賛企業一覧



シアーズホームグループ

熊本日産自動車



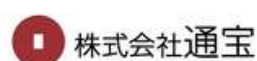
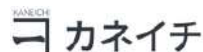
KUMAMOTO JA熊本経済連

RKK熊本放送



コスギ不動産ホールディングス

東 熊本東部青果株式会社



(株)電通九州

Land_Schaft(株)

(株)緒方商店

佐藤企業(株)

(株)サンシード

熊本柑橘(株)

くまもと



プロジェクト